

# 横須賀市 GIGA スクール構想推進計画

＝未来を切り拓く新しい学び＝



1人1台端末  
の活用

令和3年（2021年）4月 改訂

横須賀市教育委員会

## 目 次

第1章 本計画の策定にあたり	1
1 策定の趣旨	
2 本市の目指す子ども像	
第2章 学校教育の情報化に向けた国の動き	2
第3章 横須賀市のICTを活用した教育の現状	3
1 整備機器について	
2 授業でのICT活用とそれを支える取組	
3 情報活用能力の育成を目指す授業の実態	
第4章 1人1台端末を活用した具体的な取組	5
1 整備される端末等を活用した取組	
2 クラウドサービスの活用等について	
3 発達段階に応じたICTの活用例	
第5章 基本整備方針	8
1 1人1台の端末整備	
2 校内LAN等の整備	
3 その他の整備	
第6章 ICT整備スケジュール	9
第7章 現在の進捗状況	10
第8章 今後の重点検討課題	12
【参考】	13
1 1人1台端末活用イメージ（中学校・ろう学校）	
2 方針決定及び計画策定組織	
3 横須賀市GIGAスクール構想整備・推進に関する分担	

## 第1章 本計画の策定にあたり

---

### 1 策定の趣旨

- ・平成29年告示、小中学校学習指導要領解説総則編では、情報活用能力（情報モラルを含む。）が、学習の基盤となる資質・能力の一つとされました。また、その育成を図るために、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整えることが述べられ、各学校での ICT 環境の整備が急務となりました。
- ・Society5.0 時代を生きる子どもたちのために、教育における ICT を基盤とした先端技術等の効果的な活用が求められています。（文部科学省：GIGA スクール構想の実現）
- ・多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させる必要があります。（文部科学省：GIGA スクール構想の実現）

### 2 本市の目指す子ども像

- ・横須賀市では、目指す子ども像を『人間性豊かな子ども』とし、子どもの豊かな人格形成に向けて取り組んでいます。（横須賀市教育振興基本計画 第3期実施計画 以下教育振興基本計画）
- ・教育振興基本計画では、学校教育編の目標として、「子どもの学びを豊かにします」と掲げ、「指導場面における教育の情報化の推進」を取り上げています。
- ・また、「情報教育の推進事業」の概要は、「児童生徒が必要な情報を適切な手段で収集・選択・創造・発信できるよう、情報活用能力や情報モラルの育成を推進します。」としています。
- ・以上の状況を踏まえ、ICT 機器が有効に活用されることにより、本市の子どもたちに、今後、予測できない社会の変化を前向きに受け止め、主体的に向き合い・関わり合い、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となるための力を育む学校教育の実現を目指すことを目的として本計画を示しました。

## 第2章 学校教育の情報化に向けた国の動き

---

### ○教育の情報化加速化プラン（平成28年7月29日）

- ・教員自身が授業内容や子供の姿に応じて自在に ICT を活用しながら授業設計を行えるよう、児童生徒1人1台の教育用コンピュータ環境の実現を目指し、段階的な整備を行う。

### ○小学校・中学校学習指導要領（平成29年3月）

- ・児童がコンピュータで文字を入力するなどの学習の基盤として必要となる情報手段の基本的な操作を習得するための学習活動を充実
- ・児童がプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動を充実

### ○平成30年度以降の学校における ICT 環境の整備方針（平成29年12月26日）

- ・教育の ICT 化に向けた環境整備5か年計画（2018～2022年度）を策定し、地方財政の措置を講じる。

### ○学校教育の情報化の推進に関する法律 成立（令和元年6月21日）

- ・学校教育の情報化の推進に関し、基本理念、国等の責務、推進計画等を定めることにより、施策を総合的かつ計画的に推進し、もって次代の社会を担う人材の育成に貢献
- ・市町村は、学校教育情報化推進計画を基本として、その市町村の区域における学校教育の情報化の推進に関する施策についての計画を定めるよう努める。

### ○新時代の学びを支える先端技術活用推進方策（最終まとめ）（令和元年6月25日）

- ・クラウド活用の積極的推進

### ○安心と成長の未来を拓く総合経済対策（令和元年12月5日 閣議決定）

- ・学校における高速大容量のネットワーク環境（校内 LAN）の整備を推進
- ・義務教育段階において、令和5年度までに、全学年の児童生徒一人一人がそれぞれ端末を持ち、十分に活用できる環境の実現

### ○GIGA スクール実現推進本部 文部科学大臣メッセージ（令和元年12月19日）

- ・ Society5.0時代に生きる子供たちにとって、PC 端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテム

### ○「未来の学び」構築パッケージ（令和2年2月）

- ・多様な子どもたち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現

### ○GIGA スクール構想の加速による学びの保障（令和2年4月7日 閣議決定）

- ・「1人1台端末」を早期に実現することで、緊急時においても、ICT の活用により全ての子供たちの学びを保障できる環境を早急を実現

### 第3章 横須賀市の ICT を活用した教育の現状

#### 1 整備機器について

- ・教育の情報化推進を図るための環境整備として、全ての学校に40台のパソコンを備えたパソコン教室を整備するとともに、全ての普通教室に1台のパソコンを整備しています。
- ・普通教室用パソコンは、一部の学校においてタブレット型パソコンを導入しました。また特別支援学級用タブレット型パソコンを各校1台整備しています。
- ・プロジェクタは全ての普通教室に1台整備し、更新も順次進めています。
- ・国が目標としている水準と横須賀市の現状は以下の通りです。

	国が目標としている水準	横須賀市 (令和2年3月現在)
学習者用コンピュータ	1人1台端末	6.5人に1台
指導者用コンピュータ	授業を担当する教師1人1台	普通教室に1台程度
大型提示装置	100%整備	100%整備
インターネット環境	高速大容量の通信ネットワーク	通信速度は100Mbps

#### 2 授業での ICT 活用とそれを支える取組

- ・アンケート調査の結果では、拡大提示、授業の流れをスライド資料で提示、インターネット上のデジタルコンテンツ等を活用しながら授業を進めている教員が増えていることが、明らかになっています。
- ・小学校プログラミング教育の実施に伴い、学習指導要領に明記されている算数（多角形と円）・理科（電気）に関する研修を実施しました。
- ・平成30年度に、「情報活用能力の育成研究員会」を発足しました。本研究員会において、「PC教室等を活用して育成する情報活用能力」について、本市の現状を分析するとともに、調査研究を進めました。
- ・ICTの効果的な活用を進めるために、ICT活用事例集ならびに、先述した研究員会の研究成果である「小・中学校における基本的な操作スキル 習得時期体系表」を横須賀市教育情報センターイントラネット（以下、イントラネット）に掲載しています。
- ・初任者研修に「ICTを活用した授業づくり」、1年経験者研修に「情報モラル教育」の内容を位置付けるとともに、ICT活用実践研修講座を実施することにより、教員の指導力の向上を図っています。

### 3 情報活用能力の育成を目指す授業の実態

- ・ 中学校の技術・家庭科（技術分野）や各学校における教科等の指導を通して、教科等の狙いを達成するとともに情報活用能力の育成を図っています。
- ・ 道徳をはじめ各教科等での指導を通して、情報モラル（情報活用のマナーや情報を活用する場面での基本的な考え方や態度）を育成する指導の充実を図っています。
- ・ 小学校プログラミング教育の完全実施に向け、小学校全校で5年生を対象に算数「円と正多角形」の授業の中でプログラミングに関する内容を扱い、興味関心の育成を図っています。
- ・ 市内小学校にプログラミング教育に関する研究を委託し、3カ年計画で進めています。
- ・ 「情報活用能力の育成のための手引き（第1版）」を策定し、イントラネットに掲載しています。

## 第4章 1人1台端末を活用した具体的な取組

### 1 整備される端末等を活用した取組

横須賀市では、ICT環境の整備に向けて、ネットワーク環境やハードウェア環境とともに、1人1台端末の活用のあり方を今後、検討していきます。現時点では以下の2点について取り組むことを検討しています。

#### ●新しい学習スタイルの確立

#### ●臨時休業時における学びの保障と心のケア等の支援

現在の具体的な事項は次の通りですが、今後も様々な方のご意見をいただいて検討を進めていきます。

#### (1) 新しい学習スタイルの確立

- ・「情報活用能力の育成」を意識した授業展開
- ・ICT活用の推進（Google Classroom等による学習内容の共有と課題への対応）
- ・デジタル教材・デジタルコンテンツ等の活用
- ・プログラミング教育（プログラミング的思考の育成）の促進
- ・学習支援における活用
- ・個別最適化学習の充実
- ・学習内容や活動記録をデジタル化して活用するシステムの運用

#### (2) 臨時休業時における学びの保障と心のケア等の支援

- ・臨時休業時の学びの保障等
- ・オンラインコミュニケーション（Google Meet等によるホームルーム）の実施
- ・児童生徒の心のケアにかかわる観察記録
- ・メール等による連絡
- ・自宅からの生活相談・教育相談等における受付

### 2 クラウドサービスの活用等について

Chromebook等の導入とともに、教職員・児童生徒一人一人にアカウントを設定しました。学校の保有する情報の取扱いに関する基準（以下学校情報取扱基準）の遵守と個人情報管理を徹底した上で、より発展性のあるクラウドサービスを活用し、教育環境を充実させていきます。

### 3 発達段階に応じた ICT 活用例

	学習指導要領 （「解説 総則」から）	学習指導要領 （教科等）
中学校		<p>①技術・家庭科（技術分野）において、指導項目のうち、プログラミングに関する内容を充実。 具体的には、小学校におけるプログラミング教育の成果を生かし、発展させるという視点から、計測・制御に加え、双方向性のあるコンテンツに関するプログラミングや、ネットワークやデータを活用して処理するプログラミングも扱うことを想定した。その際、情報セキュリティ等についても充実させた。</p> <p>②各教科等において、コンピュータ等を活用した学習活動の充実を図る。 *小学校の例1、例3に同じ</p>
小学校 高学年	<p>各学校においては、児童（*）の発達の段階を考慮し、言語能力、情報活用能力（情報モラルを含む。）、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成していくことができるよう、各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図るものとする。</p>	<p>①各教科等において、コンピュータを活用した学習活動の充実を図る。 例1）人前で話すことへの不安を抱いている場合等に、紙やホワイトボードに書いたものを提示したり、ICT 機器を活用して発表するなど、多様な表現方法が選択できるように工夫し、自分の考えを発表することに対して自信がもてるような配慮をする。 例2）ローマ字の指導（小3国語）に当たって、総合的な学習の時間におけるコンピュータで文字を入力するなどの学習との関連が図られるように意図的、計画的に位置付ける。 例3）情報収集や情報発信の手段として、インターネットや電子辞書等の活用、コンピュータによる発表資料の作成やプロジェクターによる提示など、コンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用する機会を設ける。</p> <p>②算数、理科、総合的な学習の時間におけるプログラミング体験の例示</p>
小学校 中学年	<p>（*）…中学校は「生徒」</p>	
小学校 低学年		



必要とする PC 操作技能	PC 活用事業 (活用例)	プログラミング事業 (活用例)
<p>①プログラミング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルゴリズムを図に表す</li> <li>・適切なプログラミング言語を用いた順次、分岐、反復といった情報処理の手順や構造を入力する。</li> <li>・プログラムの編集・保存、動作の確認、デバッグ</li> </ul> <p>②情報通信ネットワークの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット、校内 LAN、特定の場所に限った通信ネットワークの利用</li> </ul> <p>③情報のデジタル化（コンテンツの作成）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現手段としてのメディアの作成</li> </ul> <p>④情報モラル</p> <p>⑤アナログ信号とデジタル信号の変換</p>	<p>①技術・家庭科（技術分野）での活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なメディアを活用したデジタル作品製作</li> <li>・プログラムの作成とデバッグ</li> <li>・各種ソフトウェアの活用 (word, excel, pp)</li> </ul> <p>②各教科等での活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・word や pp の活用による、成果物の作成や発表</li> <li>・協働学習</li> <li>・ドリル等を活用した個別学習</li> </ul> <p>③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席者への補習課題の提供や質問の授受</li> <li>・インフルエンザ等による休校期間における課題の授受</li> </ul>	<p>&lt;「技術・家庭科（技術分野）」&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによって、生活や社会における問題を解決する。</li> <li>・計測・制御のプログラミングによって、生活や社会における問題を解決する。</li> <li>・それぞれの活動の中で、プログラムの編集・保存、動作の確認、デバッグ等ができるようにする。</li> </ul> <p>&lt;他教科等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラミング的思考を取り入れて、プログラミングソフトを活用した授業を行うことも考えられる。</li> </ul>
<p>①簡易なプログラミング</p> <p>②文字入力</p> <p>③各種ソフトウェアの基本的な活用</p> <p>④基本的な PC 操作</p> <p>⑤情報モラル</p>	<p>①各教科等での活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットによる調べ学習</li> <li>・文書ソフトを活用した作品作り</li> <li>・協働学習</li> <li>・ドリル等を活用した個別学習</li> </ul> <p>②その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席者への補習課題の提供や質問の授受</li> <li>・インフルエンザ等による休校期間における課題の授受</li> </ul> <p>①各教科等での活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットによる調べ学習</li> <li>・PCをつかった文字入力</li> <li>・協働学習</li> <li>・ドリル等を活用した個別学習</li> </ul> <p>②その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席者への補習課題の提供や質問の授受</li> <li>・インフルエンザ等による休校期間における課題の授受</li> </ul>	<p>&lt;5年生算数&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正多角形をプログラミングによってPCで書くことによって、プログラミング的思考につなげる。</li> </ul> <p>&lt;6年生理科&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気の利用の中で、電気を効率よく使うための方法として、プログラミングを取り入れ、コンピュータが生活に役立つものにつながっていることに気付かせる。</li> </ul> <p>&lt;例&gt;</p> <p>○総合的な学習の時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報に関する探究的な学習として、プログラミングを体験しながら、コンピュータの動きをよりよい人生や社会づくりに生かそうとする態度を涵養する。その中で、プログラミング的思考の育成を目指す。</li> </ul>
<p>①PCに慣れ親しむこと</p> <p>②基本的なマウス操作</p> <p>③PCの活用のルール理解</p>	<p>①各教科等での活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字入力ツールを使った手紙の作成</li> <li>・協働学習</li> <li>・ドリル等を活用した個別学習</li> </ul> <p>②その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席者への補習課題の提供や質問の授受</li> <li>・インフルエンザ等による休校期間における課題の授受</li> </ul>	<p>&lt;例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータに親しむ活動の中で、簡易なプログラミングソフトに触れさせる。</li> <li>・アンブラグドの活動によって、プログラミングの考え方の基本に触れる。</li> </ul>

## 第5章 基本整備方針

### 1 1人1台の端末整備

市立学校（小学校46校、中学校23校、特別支援学校2校）に在籍する児童生徒に「1人1台」の端末の整備を進めます。令和2年度末までに中学校・ろう学校で完了しました。小学校・養護学校は、令和3年度11月までの完成を目指します。教職員に対しては、1学級に1台程度の端末の整備を進めます。

機種については、3つのPC・タブレット（①WindowsOS ②ChromeOS ③iPadOS）について、それぞれのOSのメリット・デメリットを分析し、学校情報化推進部会を中心とした教育現場の教員からの意見を基に、児童生徒用端末機種選定委員会において、以下のとおり選定を行いました。

校種	端末	ソフトウェアや周辺機器など
	選 定 理 由	
小学校	Chromebook	ミライシード（オリンク・ムーブノート・ドリルパーク）
	タブレット機能が使え操作しやすい・起動が速い・中学校への接続 など	
中学校	Chromebook	ミライシード（オリンク・ムーブノート・ドリルパーク）
	シンプルで使いやすい・起動が速い・県立高校への接続 など	
ろう学校	Chromebook	ミライシード（オリンク・ムーブノート・ドリルパーク）他
	シンプルで使いやすい・起動が速い・音声文字変換機能が使える など	
養護学校	iPad	防水ケース・アーム・apple TV HD・apple pencil
	操作が簡易・障がいの程度にあわせた効果的な活用が見込まれる など	

### 2 校内LAN等の整備

端末の導入に合わせ、普通教室、特別教室（図書室、理科室、体育館など）において、校内無線LANの整備を進め、高速通信化を図ります。令和2年度末までに中学校・ろう学校で完了しました。小学校・養護学校は、令和3年度11月までの完成を目指します。

また、端末の充電や保管のための「電源キャビネット（充電保管庫）」の調達と整備は、令和2年度末までに小学校・中学校・ろう学校・養護学校で完了しました。

## 第6章 整備スケジュール

		全 体	端末 中学校 ろう学校	校内LAN 中学校 ろう学校	小学校・養護学校（※1）	
					I 期 (10校)	II 期 (37校)
R2	3月	↑ 推進計画検討・確定	↑ 機種選定	↑	↑ 機種選定	↑ 機種選定
	4月					
	5月					
	6月					
	7月					
	8月					
	9月	↓ 運用に向けた準備	↓ 整備	↓ 整備	↓ 保管庫設置・端末購入	↓ 保管庫設置・端末購入
	10月					
	11月					
	12月					
R3	1月					
	2月					
	3月	↓ 運用支援・状況把握	↓ 運用	↓ 運用	↓ 校内LAN工事	↓ ※2 校内LAN工事
	4月					
	5月					
	6月					
	7月					
	8月					
	9月	↓ 端末設置・運用	↓ 運用	↓ 運用	↓ 運用	↓ 運用
	10月					
	11月					
	12月					

（※1） 小学校・養護学校は2期に分けて整備を実施。I期の学校は、鷹取・汐入・諏訪・城北・馬堀・鴨居・神明・野比・栗田・大楠の10校

（※2） 小学校、養護学校のII期整備について

LAN工事が終わった学校から順次端末を設置し、運用を開始する

## 第7章 現在の進捗状況

重点的に検討を進めてきた項目についての進捗状況は、次の通りです。

### ○クラウド利用を想定した学校情報取扱基準の改訂

- ・クラウド利用を前提とし、1人1台端末を効果的に、安全かつ安心して活用するため、令和3年4月1日付で学校情報取扱基準（第5版）を策定した。
- ・成績（総括評価）や個人の特性等に係る機微情報を扱うことがないため、教員が授業において活用するために支障を来すことがないように、十分に配慮しながら策定した。

### ○端末の管理、運用マニュアル作成と周知

- ・1人1台端末の適正な保管と運用を目的とした、管理・運用マニュアルを作成し、周知した。管理マニュアルについては、日常の管理方法や月次、年次における適正な管理方法を例示した。運用マニュアルについては、端末の基本操作から、授業における有効活用方法など幅広く例示した。いずれもイントラネットサイトにアップロードし、いつでも教職員の手に取れる状況を作り上げた。
- ・あわせて、教職員の活用を促進するために、1人1台端末の活用イメージを作成した。年間の活用目標を提示するとともに、それに至るまでをいくつかのフェーズに分け、すべての教職員にとって無理なく活用を進めることができるような作りとした。

### ○授業における効果的な活用に向けた教員研修実施

- ・令和3年4月からの運用開始に向けて、研修を実施した。新たに導入するChromebook 端末に関する研修を、オンデマンドによる動画視聴にて全教員を対象に行った。
- ・選択研修として、Google Classroom に関する内容と、ミライシードに関する内容を実施した。受講者が自校に持ち帰り、校内で共有することを期待して実施した。数校では、校内研修を企画、実施し、選択研修の内容を広めたとの報告もあがっている。

### ○オンライン学習のためのコンテンツ作成

- ・臨時休校により授業時数や授業形態が制限される中、全ての子どもたちの学びを保障するため、これまでの学習を補完する内容（実験・観察等）のコンテンツ作成に取りかかった。
- ・中学校3年生向けとして、進路学習用の授業動画を作成・配信し、自宅学習の支援を行った。

### ○オンラインコミュニケーションの効果的な活用

- ・先に整備した学校用端末を活用し、様々な理由により登校できない児童生徒と

学校が、オンライン上でコミュニケーションをとることを実践した。

- ・あわせて、学校間や学校と教育委員会の連絡手段としても学校用端末を効果的に活用し、教職員の働き方改革の取組の一助となる方策を模索した。

#### ○GIGA スクールサポーターの活用

- ・国庫補助対象事業として業務委託し、中学校・ろう学校は令和2年10月から令和3年3月まで、小学校・養護学校は令和3年1月から契約している。
- ・主な業務内容は、端末等の操作マニュアル作成、端末等の管理・運用マニュアル等の周知、教員対象の操作研修、学校に納入される端末等の受領、納品検査対応、端末の授業での活用方法策定支援、GIGA スクール構想に対応した取扱い基準の改定など。

#### ○ICT 支援員の活用

- ・GIGA スクールサポーターと同様、国庫補助対象事業として業務委託している。
- ・配置時期については、端末の活用開始時期を見込んで、中学校・ろう学校は令和3年4月から、小学校・養護学校は令和3年9月からを予定している。
- ・主な業務内容は、導入する端末やソフトを活用した授業の実施支援、教員に対する端末やソフトの操作研修、端末等の ICT 機器の管理、障害対応、オンラインによる授業
- ・コミュニケーションの実施支援、教員、児童生徒のアカウント作成支援など。
- ・学校訪問の頻度は、各校平均、週 1.5 回。ICT 支援員 1 人につき 3 校程度担当する。

## 第8章 今後の重点検討課題

---

今後は、横須賀市教育委員会情報化推進本部のもと、以下の項目について重点的に検討を進めていきます。

### ○端末の管理、運用マニュアル改訂

- ・運用開始後の状況を見ながら、適宜内容を見直す。また、小学校・養護学校を対象としたマニュアルの作成

### ○授業における効果的な活用に向けた教員研修計画

- ・情報活用能力の育成を目指し、1人1台端末を効果的に活用するための教員研修計画と研修の実施
- ・中学校・ろう学校を対象として実施した研修を基に、今後は特に小学校・養護学校を対象とした研修を実施
- ・夏季研修講座においては、1人1台端末の活用を先行実施している実践事例や活用が見込まれるアプリケーションの有効活用方法についての内容を含め、授業で活用するための研修の実施を検討

### ○オンライン学習のためのコンテンツ作成

- ・災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても全ての子供たちの学びを保障するためのコンテンツ作成に向けた検討
- ・児童生徒が自身の学習進度に合わせて活用できるオンデマンド型コンテンツの活用の検討
- ・双方向型オンライン学習の可能性の模索

### ○オンラインコミュニケーションの効果的な活用

- ・有事の際にも学校と児童生徒がつながる環境づくりを目的としたオンラインコミュニケーションの在り方の検討

### ○不登校児童生徒や支援が必要な児童生徒の学校外での学びの保障

- ・さまざまな理由により学校で授業を受けることが困難である児童生徒に対する、学習支援の方策を検討

### ○デジタル教科書の使用に向けた検討

- ・国の動向を確認しながら、Chromebook 端末を活用したデジタル教科書活用の検討

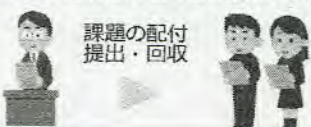

### ○BYOD (Bring Your Own Device : 個人所有の端末を学校に持参し、授業で活用したり、家庭学習で利用したりすること) に向けた検討

- ・学校での学習とあわせて、家庭学習においても1人1台端末を効果的に活用できる環境の実現を目指した検討

# 1 令和3年度 1人1台端末活用イメージ (中学校・ろう学校)

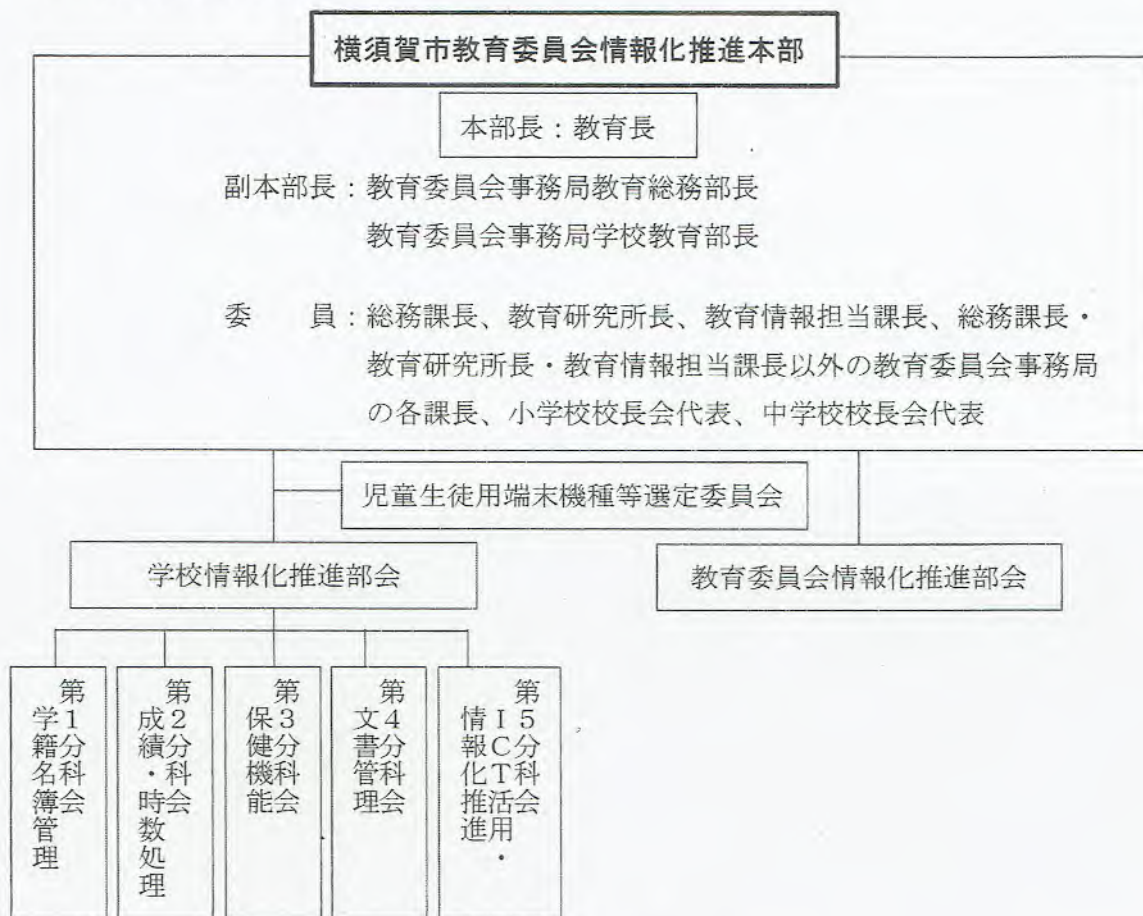
●生徒 ○先生  
■ICT支援員

<b>4月～7月</b> <b>Chromebookの基本操作の習得</b> 週1回以上の活用 ・1日を通じた丁寧な管理 ・アカウント・パスワードの管理 ・Chromebookへのログイン ・ミライシードへのログイン	<b>8月～12月</b> <b>Chromebookを授業での活用</b> 週2・3回の活用 ・Googleアプリの授業での活用、Googleフォーム、 ・Google Classroomの活用 ・ストリーム機能、課題の配付・回収、フォームの活用 ・ミライシードの活用	<b>1月～3月</b> <b>Chromebookを授業での積極的な活用</b> 週2・3回以上の活用 ・Googleアプリの日常生活での活用 ・Googleカレンダー、Jamboard ・Google Meetの活用 ・Google Classroom、ミライシードの積極的な活用
--	---	--

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
Chromebook	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1日丁寧に管理をしましょう</li> <li>●自分のID・パスワードを覚えてログイン・シャットダウンしましょう</li> </ul>											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ルールやマナーを守ってインターネット利用・動画視聴をしましょう</li> <li>●カメラ機能を利用して写真・動画を撮影して、保存をしてみましょう</li> <li>●Googleアプリを活用してみましょう</li> </ul>											
活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Chromebookは、学校生活の中でどんな場面で使うことができるか、先生に提案して一緒に使ってみましょう</li> <li>○Googleアプリを利用して資料を作成してみましょう(ドキュメント・スプレッドシート・スライド)</li> <li>○Google Meetを利用してオンラインコミュニケーションに取り組んでみましょう(総合的な学習の時間の外部の講師の方へのインタビュー、他校の生徒会との情報交換など)</li> </ul>											
Google Classroom	<ul style="list-style-type: none"> <li>○管理方法の指導(1日の管理の流れ、保管場所、使用可能な時間の確認)</li> <li>○ID、パスワードの管理の指導</li> </ul>											
活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Googleアプリの活用の指導</li> <li>○Chrome</li> <li>○YouTube</li> <li>○カメラ</li> <li>○ドキュメント</li> <li>○スプレッドシート</li> <li>○スライド</li> </ul>											
Google Classroom	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Google Classroomに参加しましょう</li> <li>●ストリーム機能を使って、予定・持ち物を確認しましょう</li> </ul>											
活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Google Classroomへの生徒の招待</li> <li>○アカウントをからの招待</li> <li>○生徒にクラスルームIDを入力した招待</li> <li>○ストリーム機能の活用</li> <li>○課題の提出日、持ち物の投稿</li> <li>○課題の配付・回収</li> <li>○マナー・ルールを守った返信の徹底</li> </ul>											
活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●先生に課題を提出してみましょう</li> <li>●Google Classroomストリーム機能を使って書き込み・課題の提出をしてみましょう</li> </ul>											
活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ドキュメントを使った文書の作成(ワークシートの作成)</li> <li>○スプレッドシートを使った集計(データの集計)</li> <li>○スライドを利用した、プレゼンテーション</li> <li>○Googleフォームを利用した簡単なテスト・生徒の意見集約</li> <li>○Jamboardを利用した意見集約</li> </ul>											
活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Google Classroomを使って授業に積極的に参加してみましょう</li> </ul> 											
活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Google Classroomを使った課題の提出</li> <li>○ストリーム機能を利用した連絡(持ち物・予定・健康状態の確認・スケジュールの調整など)</li> <li>○Googleカレンダーを活用した予定の確認</li> </ul>											
活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ミライシードにログインして画面を確認してみましょう</li> <li>●ドリルパークを利用して、ドリルパークを進めてみましょう</li> <li>●ドリルパークを利用して、ヘルプ学習に取り組みましょう</li> </ul>											
活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ミライシードを利用した授業実践</li> </ul>											
活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ドリルパークを使って、自分で学習を進めてみよう</li> <li>○ドリルパークを使った個々の進捗状況の把握</li> <li>○ドリルパークを使った学習へのアドバイス</li> </ul>											
活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オクリンクを使って、プレゼンテーションに取り組んでみましょう</li> <li>●オクリンクを使って、自分でカードを提出してみましょう</li> <li>○オクリンクを使ったカードの作成→配付→回収</li> <li>○オクリンクを使った全体の意見の把握→指名</li> </ul>											
活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ムーブノートを使って、自分の意見を書いて提出しよう</li> <li>○課題カードの作成→配付→回収</li> <li>○集計機能の活用(キーワード集計・選択肢集計)</li> </ul>											
活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ミライシードの機能(オクリンク・ムーブノート)を使って、自分の考えをまとめよう。積極的に発信しよう</li> <li>○ドリルパークの定期的な利用→生徒の学習習慣の定着</li> <li>○オクリンク・ムーブノートを利用した生徒の意見の集約</li> </ul> 											
活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ドリルパークを利用した個別学習</li> <li>○オクリンク・ムーブノートを利用した協働学習</li> </ul>											
情報モラル	<ul style="list-style-type: none"> <li>●タブレット端末の正しい使い方を考えよう</li> <li>●自分のID・PWをしっかりと管理をしましょう</li> <li>●個人の情報は、他人に知らせないようにしましょう</li> </ul>											
活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○タブレット端末の扱い方</li> <li>○ID・PWの管理</li> </ul>											
活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Google Classroomを利用するときのマナーを考えよう</li> <li>●Googleドライブの正しい扱い方を考えよう</li> <li>○掲示板(ストリーム機能)を使う時のマナー</li> <li>○大勢の前で意見を出すときの出し方・書き方</li> <li>○相手への影響を考えたGoogle Classroomの活用</li> </ul>											
活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●安全に情報機器を活用しよう</li> <li>○健康面に配慮した、情報メディアとのかかわり方</li> <li>○自他の安全面に配慮した情報メディアとのかかわり方</li> </ul>											
活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●授業で利用するときのルール・マナーを考えよう</li> <li>○著作権などの知的財産権を尊重した情報の扱い方</li> <li>○情報の保護や取り扱いに関する基本的なルールや法律の理解</li> <li>○ネットワークの公共性の理解</li> <li>○基本的なセキュリティ対策の理解</li> </ul>											
ICT支援員	授業計画の作成支援・教材作成・ICT機器の準備・機器のメンテナンス・操作支援・障害トラブル対応・教員研修											
活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学校環境の確認</li> <li>■保管庫の位置</li> <li>■鍵の保管場所</li> <li>■端末の台数の確認</li> <li>■学校のICT機材確認</li> <li>■新1年生のアカウントの付与</li> <li>■全教員・生徒がID・PWを理解し、ログインができるようにサポートすること</li> </ul>											
活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●校内研修会の実施</li> <li>○校内研修会の計画</li> <li>■Chromebookの操作に関すること</li> <li>○カメラ・動画の撮影→ドライブへのアップロード</li> <li>■Google Meetを利用した会議の参加、開催</li> <li>■Google Classroomを利用した課題の配付、回収</li> </ul>											
活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>■夏季休業を利用した研修会の実施</li> <li>○長期休業を利用した研修・質問事項の整理</li> </ul>											
活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>■授業での活用支援</li> <li>○授業での活用のサポート要請</li> <li>○教材の作成支援の依頼</li> <li>■端末の管理の確認</li> <li>○学校での管理の支援</li> </ul>											
活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>■令和4年度に向けての準備</li> <li>■アカウント作成の確認</li> <li>■年度末の照会に向けた台数の確認</li> <li>■学年間の生徒の移動における台数調整の準備</li> </ul>											

【参考】

2 方針決定及び計画策定組織



3 横須賀市 GIGA スクール構想整備・推進に関する分担

〈令和2年度まで〉	〈令和3年度から〉
<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校教育部教育研究所                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・GIGA スクール構想全般に関すること</li> <li>・充電保管庫（キャビネット）の仕様に関すること</li> <li>・GIGA スクールサポーターに関すること</li> <li>・ICT 支援員に関すること</li> </ul> </li> <li>●教育総務部教育政策課教育情報システム室                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・端末の調達に関すること</li> <li>・充電保管庫（キャビネット）の調達に関すること</li> </ul> </li> <li>●教育総務部学校管理課（公共建築課）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワーク工事に関すること</li> </ul> </li> <li>●学校教育部教育指導課                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習ソフトの選定、教育的活用・指導に関すること</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校教育部教育研究所（教育情報担当課）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・GIGA スクール構想全体に関すること</li> <li>・1人1台端末の教育的活用に関すること</li> <li>・オンライン学習・コミュニケーションに関すること</li> <li>・GIGA 端末活用研修に関すること</li> <li>・GIGA スクールサポーターに関すること</li> <li>・ICT 支援員に関すること</li> <li>・端末の設定、配備に関すること</li> <li>・ネットワーク回線に関すること</li> </ul> </li> <li>●教育総務部学校管理課                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワーク工事に関すること</li> </ul> </li> </ul>



横須賀市教育委員会事務局

局長 田中 浩

総務課 企画課 情報課 生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課

生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課

生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課

生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課

生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課



生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課

横須賀市 GIGA スクール構想推進計画

令和3年（2021年）4月改訂

横須賀市教育委員会